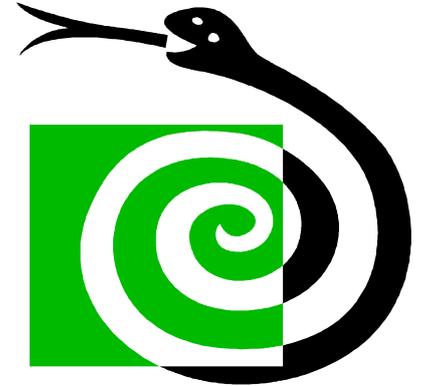


連絡先：(村田 090-1354-5974、三井 090-6412-4658)

寒中お見舞い申し上げます！ 本年もよろしくお願ひ申し上げます。
 前回、継続加入のご案内を致しましたところ、現在50名強のご継続を
 いただいております。ありがとうございます。
 今回も別紙にて継続加入のご案内を差し上げておりますので、
 お手続きの方、よろしくお願い申し上げます。
 (既にご継続の方は、お知り合いにも広めて下さいませ。)



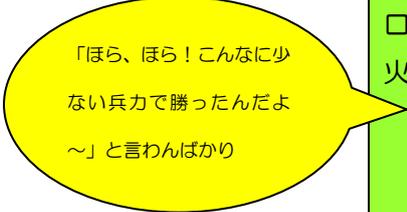
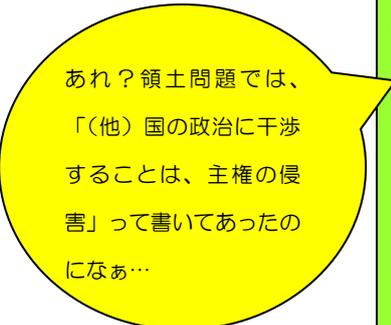
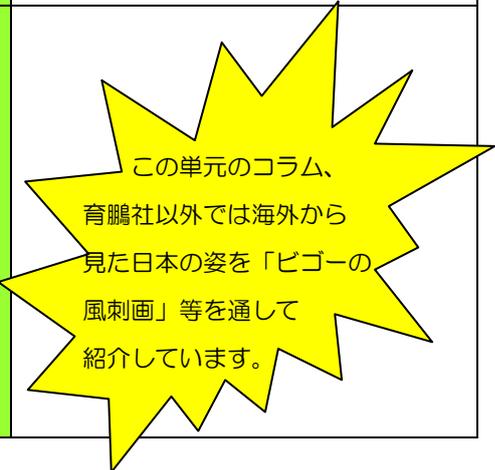
第 11 回定例学習会 「日露戦争」

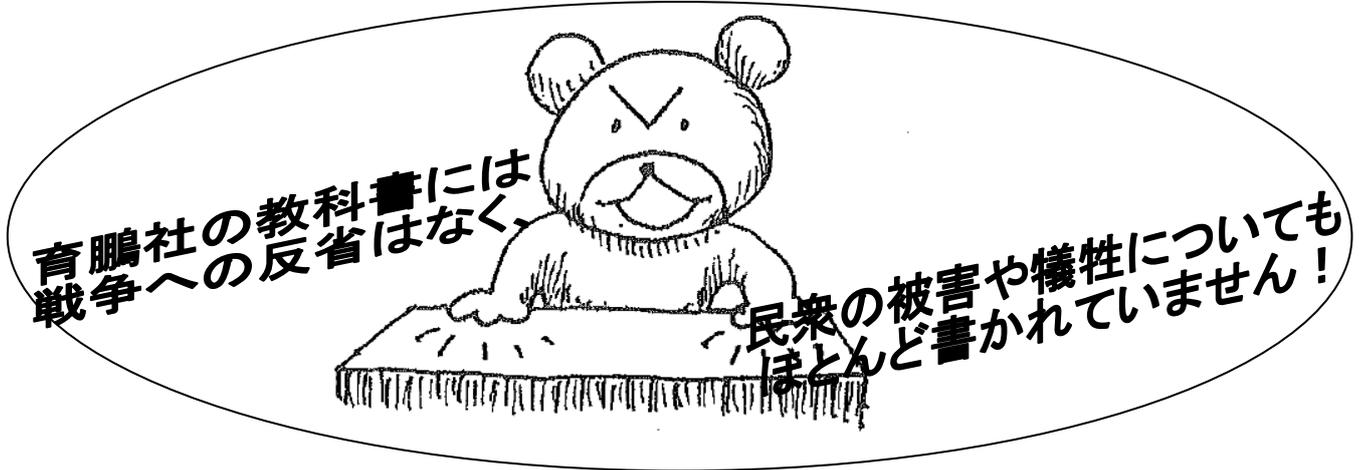
戦争、頑張ったらそれでいいのか！

12月2日に行いました。報告です！

前回の「日清戦争」に続き、今回の学習会は「日露戦争」。育鵬社版と非育鵬社版の違いが如実に表れる单元です。

それぞれの教科書にどのように記述してあるか(「」部分)、下の比較表をご覧ください。

	育鵬社版	非育鵬社(日本文教出版)版
(1) 民衆の犠牲について 	「陸軍は…多くの犠牲を払った末に占領しました。」 具体的な犠牲の記述はない。	「戦争による増税などで苦しい生活をがまんしてきた国民は…」 酒税の課税や塩・煙草の専売制が始まりました。
(2) 資料(表・グラフ) 	「開戦前のロシアの極東兵力」 ロシアと日本の兵力(歩兵、騎兵、火砲、戦艦、装甲巡洋艦)の比較。	「日清戦争と日露戦争の比較」 日本の兵力、戦死者、戦費が、日清戦争時と比較して、それぞれ4.5倍、6.5倍、8.75倍になっています。17.5億円の戦費は7億の増税と10億の国債で賄われました。
(3) コラム 	「日露戦争を勝利に導いた舞台裏」 「陸軍大佐明石元二郎は、ロシア革命への動きを支援し、ロシアの世論を講和締結へと導きました。」 「戦闘の舞台裏でくり広げられた、外交戦・情報戦によってもたらされた勝利」 教科書じゃないみたいです。	



● 運営委員からひとこと ●

総選挙の投票日の翌日、初孫が生まれました。

母と子、ともに元気でした。

元気なのがとてもうれしい。

生まれて部屋をかわる時に初対面。

「手をさわっていいですか？」と看護師さんに尋ねたら

「抱かれますか？」と聞かれ、「ああ…」と抱かせてもらいました。

その軽さ。

愛おしさ。

わが子に感じなかった気持ちを持ちました。

大事に育てて欲しい。

一番思ったのはこの子が平和な社会に生きることでした。

そのことを願わずにはおれませんでした。

この子と、そして、この子と同じ時代を生きる子たちと。

自民党が大きく伸び「閣僚に改憲団体『日本会議』の面々が13人も」と言われています。

戦争をする時代への逆もどりは絶対にあってはなりません。

育鵬社の教科書は一日も早くやめなくてはなりません。

それが「ジージ」の生きる意義ではないかと思っています。

奥田和夫



ち
よ
っ
と
お
で
か
け

今回は「教育のつどい」
の分科会として共催

教科書を考える呉の会～未来への架け橋～

定例学習会です！第12回「太平洋戦争」

日時：2012年01月19日（土）午後1時～3時半

場所：ビューポートくれ 2階大会議室

（ご注意！今回は西教寺さんじゃありません）

講師：高橋信雄さん（広島教育研究所）

もしも育鵬社教科書に対して忠実に授業を行う
先生がいたら…？

生徒の目線で模擬授業を体験してみませんか？

冒頭でもお知らせした継続加入のご案内（別紙）を今一度ご確認ください。